

平成29年度 書道 I

教科(科目)	芸術(書道 I)	学科(コース)・学年	全学科・1 学年
使用教科書	書 I (光村図書)		
副教材等			
履修単位(時間)	2 単位(70 時間)	履修条件	芸術 選択必修

1. 学習目標

- ・小・中学校国語科書写の学習を基礎としながら、書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。
- ・書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていくとともに、書の伝統と文化について理解を深める。

2. 指導の重点

- 基本的な用筆法を理解し、さまざまな線質の表現方法を身につける。
- 文字(書道)の変遷における歴史的背景について理解し、作品を鑑賞する。
- 「書く」だけではない多様な書表現を知り、書道を楽しさを味わう。
- 創作活動を通して、個性を理解し、自己表現のための技法の工夫する。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1 学期	導入「書写」から「書道」へ ・用具用材 ・姿勢 ・筆の扱い方 ・専門用語の理解 ・漢字の学習 楷書の学習 古典作品の臨書 ・孔子廟堂碑 ・牛橛造像記 ・鄭羲下碑 ・顔氏家廟碑 〈競書大会作品制作〉	・「書写」と「書道」の違いを理解する。 ・用具用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・学習活動の基礎、基本について理解を図り、学習態度を確立する。 ・漢字の成立と変遷を理解する。 ・基本的な筆法、運筆法による点画や線質の表し方を理解する。 ・文字の形の取り方、一つの作品のまとめ方について理解する。 ・古典作品の時代背景を理解する。 ・学習してきた古典作品から好きなものを選択し、臨書作品を制作することで、全体の構成力を理解する。	・授業への取り組み ・プリント ・作品 ・鑑賞(自己評価表) ・授業の取り組み(制作態度・意欲)
2 学期	篆刻 ・篆書の学習 ・篆刻の基本 ・技法の習得 漢字仮名交じり書 ・語句の選定 ・様々な表現方法、構成方法の学習	・篆書の歴史的位置を知る。 ・印の制作を通して、その役割と正しい使い方を理解する。 ・漢字と仮名との調和を図って書くことができる。 ・自己の意図に基づき表現方法の工夫をし、作品制作できる。 ・書作品のまとめとして、落款の	・作品(篆刻) ・授業の取り組み(制作態度・意欲) ・プリント ・作品 ・授業の取り組み(制作態度・意欲) ・鑑賞(自己評価表) ・鑑賞カード

	<p>行書の学習 古典作品の臨書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭亭序 ・風信帖 <p>・氏名の行書練習</p>	<p>入れ方について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成作品を鑑賞しあい、さまざまな表現方法を味わう。 ・基本的な筆法、運筆法による点画や線質の表し方を理解する。 ・文字の形の取り方、一つの作品のあり方（まとめ方）について理解する。 ・古典作品の時代背景を理解する。 ・実用性のある行書体で各自の氏名を書くことができる。 	<p>（他者の作品を鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・鑑賞（自己評価表） ・授業の取り組み（制作態度・意欲）
	<p>隸書の学習 古典作品の臨書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曹全碑 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な筆法、運筆法による点画や線質の表し方を理解する。 ・古典作品の時代背景を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・鑑賞（自己評価表） ・授業の取り組み（制作態度・意欲）
3 学期	<p>仮名の書 基礎練習 古典作品の臨書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓬萊切 <p>生活の中の書 実用書の練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立について理解する。 ・基本的な用筆法を理解する。 ・連綿を理解し、流動美を表現する。 ・臨書し、作品の構成を理解する。 ・ボールペンや筆ペンの使い方、文字の結構法を理解する。 ・冠婚葬祭などの一般常識を理解し、活用できる力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・鑑賞（自己評価表） ・授業の取り組み（制作態度・意欲） ・作品 ・授業の取り組み（制作態度・意欲）

4. 評価の観点

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統と文化に関心を持っている。 ・主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 ・書の創造的活動の喜びを味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意図に基づいて表現方法を探求し、構想、表現を工夫している。 ・書のよさや美しさを感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け、表している。 ・様々な書体の特徴を把握し、用筆や運筆に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の書の効用を理解し文字及び書の伝統と文化について幅広く理解している。 ・書のよさや美しさを創造的に味わっている。
<p>具体的な評価の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習成果（作品） ②学習活動への参加状況や態度 ③学習のまとめの内容（プリント・自己評価表など） 			

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

小学校、中学校での国語科の「書写」で学んできた基礎的な内容もありますが、きれいな書だけではなく、芸術科「書道」としてのさまざまな表現技法などを学んでいく授業内容です。